９

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **国語** | **第４学年** | **尾道市立土堂小学校** | **指導者　梶本　沙織** |

**ごんの気持ちは届いたのかな？～読んで考えたことを伝え合おう～**

**４年　「ごんぎつね」**

**単元名**

**思考力・表現力**

**本単元で育成する資質・能力**

**１　単元について**

　○　本単元は，小学校学習指導要領第３学年及び第４学年の「Ｃ　読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

（１）エ　登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

　　カ　文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

1. **単元観**

本単元では，複数の場面の叙述を結び付けながら，中心人物の気持ちの変化を読み取る力を身に付けることを目標としている。また，人物と人物の関わりや気持ちの変化を捉えた上で，自分の考えをまとめる力を身に付けることを目標としている。

本教材は，第５場面まではごんの視点で書かれているため，ごんに同化しながら読み進めることができ，気持ちの変化をつかみやすい教材である。ほんのいたずらで兵十のうなぎを逃がしてしまったことがきっかけとなり，ひたむきに償いをするごんの行動を読み取りながら，ごんの心の奥の「思い」の変化を想像する力を付けることができると考える。視点が変わる第６場面では，ごんが兵十にうたれてしまうという結末に，「ごんがかわいそうだ」「兵十に分かってもらえて幸せだ」といった見方・考え方のズレが児童の中に生まれるだろう。ここに，児童が課題を発見・設定し，人物の気持ちの変化を読んでいくことで，自分の考えをまとめることができる単元であると考える。

**（２）児童観　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（３）指導観**

学級の実態

個へのアプローチ

児童は，みんなで問いを考え，解決していく学習をおもしろいと感じている。そこで，本単元においては，児童の初発の感想が集中するであろう第６場面に焦点を絞って問いを設定し，その解決を目指して学習を進めていく。

また，場面読みの際に「○○日記」を取り入れる。この活動は，登場人物になりきり，文章中には書かれていない登場人物の気持ちを児童が想像して埋めて書く必要があるため，登場人物の気持ちの変化について深く読むことができると考える。日記という抵抗感の低い活動を取り入れることによって，文章にまとめる経験を増やしたい。

国語科に関するアンケートを実施したところ，「国語の授業が好き」と肯定的に答えた児童は24名中16名で，新しい漢字を書けるようになることや物語を読むことが楽しいことなどをその理由として挙げる児童が多かった。「みんなで問いを考え，解決していく学習はおもしろい」と感じている児童は22名であった。

児童は，『走れ』のお話でも問いをつくり，中心人物の気持ちの変化を読み取っていった。しかし，感覚的には読めていても，気持ちの変容やそのきっかけを文章化することに課題が見られた。

学級全体で一つの大きな問いを設定することで，問題意識をもち，物語を読み進めることができるようにする。また，物語の内容を読み取る際に，自分の知識や経験と結びつけて考えさせたり，考えの変化や深まりを自分自身で確認できる場を設定したりすることで，これらの苦手意識を少しでも取り除けるようにしたい。

　物語を読むことに苦手意識をもっている児童が８名いるため，本単元でも意欲をもちにくい児童がいることが考えられる。また，物語を読んで感じたことや考えたことを書くことに苦手意識を持っている児童が10名いる。

**（４）単元の目標**

○　登場人物の性格や心情が分かる叙述を見付けることができる。　　　　　　　　　　　（知識及び技能）

○　人物と人物の関わりを考えながら，中心人物の気持ちの変化を読み取ることができる。

　　　　　　　（思考力，判断力，表現力等）

○　物語を読んで課題を発見したり，学習を振り返ったりしようとする。

○　友達の感じたことや考えたことを理解しようとする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　（主体的に学習に取り組む態度）

**２　単元の評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識及び技能 | 思考力，判断力，表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価規準 | 登場人物の性格や心情が分かる叙述を見付けることができる。 | 人物と人物の関わりを考えながら，中心人物の気持ちの変化を読み取っている。  物語を読んで，感じたことや考えたことをまとめている。 | 物語を読んで課題を発見したり，学習を振り返ったりしている。  友達の感じたことや考えたことを理解しようとしている。 |

**３　指導計画（全１２時間）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次 | 学習活動 | 児童の思考の深まり | 評価規準（評価方法） |
| 一　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　二 | 課題の設定  初発の感想を書いて発表し，結末に対する見方・考え方のズレから学習課題を設定する。（１）  【本質的な問い】　　　　　　ごんの最後は幸せだったのだろうか。  情報の収集  整理・分析  ごんの境遇や性格を読み取る。（いたずらをしたごんの気持ちを読み取る。）  （２）  　いたずらを後悔するごんの気持ちを読み取る。（１） | 最後ごんがうたれてしまって，とてもかわいそうだと思ったよ。ごんは兵十に気付いてもらえて幸せだったんじゃないかな。最後のごんの気持ちについて，じっくり考えたいな。  　「夜でも，昼でも」「いたずらばかり」するような，悪いきつねだ。「ひとりぼっち」のかわいそうなきつねだよ。さみしくて，遊んでほしくていたずらをしちゃったのかな。  　まさか自分のいたずらのせいで，兵十が悲しい思いをするなんて思ってもいなかったんだろうな。 | 物語を読んで，課題を発見している。  【態度】（ノート）    登場人物の性格や心情が分かる叙述を見付けることができる。  【知・技】（ノート）  中心人物の気持ちの変化を叙述から読み取っている。  【思・判・表】（ノート） |
| 二 | つぐないを繰り返すごんの気持ちを読み取る。（２）  　兵十と加助の後をつけるごんの気持ちを読み取る。（１）  　「引き合わない」と思いながらもくりを持っていくごんの気持ちと，兵十のごんに対する気持ちの変化について読み取る。（２） | ひとりぼっちのつらさを知っているからこそ，何かしなければと思ったんだろうな。何度もつぐないをしているし，兵十のことをとても気にしているね。  　やっぱり，兵十のことをとても気にしているな。もしかして気づいてほしいのかな。兵十と仲良くなりたいと思っているのかもしれないよ。  いつか気づいてもらえると思って，ずっとつぐないをするつもりなんだな。ごんにとって，兵十は大切な人になっていたんだな。兵十は，またいたずらをされると思って怒っていたはずだよ。こらしめてやろうと思っていただろうね。くりを見つけたとき，体の力がぬけてしまったと思う。うってしまった自分を責め続けるかもしれない。 |  |
| 三 | ふりかえり  まとめ・創造・表現  最後の場面のごんの気持ちを考え，問いを解決する。（１）（本時１０／  １２）  問いと単元の学習について振り返りをする。（２） | ごんは，最後の最後で兵十に自分のしてきたことに気づいてもらえて，幸せだったと思う。兵十がうっていなかったら，友達になれたかもしれないから，ごんは不幸せだと思う。  　ごんの気持ちを想像しながら読むことができたよ。一つの言葉から，いろいろな様子が想像できておもしろかったな。場面ごとにごんの気持ちが変わっていくので，どきどきしたよ。感想を伝えるためには，人物の気持ちの変化を読み取ったり，自分の経験を思い出したりするといいね。物語について考えたり，物語を読んだ自分の変化について考えたりすることも面白いと思ったよ。 | ごんと兵十の関わりを基に，自分の考えをまとめている。  　　　【思・判・表】（ノート）  　これまでの学習を振り返り，今後の学習に生かそうとしている。　　　【態度】（ノート） |

**４　本時の展開（１０／１２）**

**（1）本時の目標**

「ごんの最後は幸せだったのか」という問いについて，ごんと兵十の気持ちや二人の関係をもとに，自分の考えをまとめることができる。

**（2）観点別評価規準**

　　　人物と人物の関わりや，気持ちの変化をもとに，自分の考えたことをまとめている。

【思・判・表】

**（3）学習の展開**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（○），  配慮を要する児童への支援（◆） | 評価規準（評価方法）  予想される児童の反応 |
| １　本時のめあてを確認する。  ２　自力解決をする。  ３　グループで交流する。  ４　全体で交流する。  ５　振り返りをする。 | ○　これまで読み取ってきたことをもとに，自分たちの大きな問いを解決していくことを確認する。  ごんの最後は幸せだったのだろうか。考えを伝え合おう。  ○　第６場面を音読し，これまでのごんと兵十の気持ちの変化と  関係を振り返る。  ○　十分時間を取って，自分なりの考えをまとめさせる。  ◆　立場を聞き，その理由を発言させた後で，文章にまとめさせ  る。  ◆　これまでの読みを振り返り，立場の理由となるところがない  か声掛けをする。  ○　メンバーの立場を明確にして考えを述べるようにさせること  で，お互いの考えの共通点や相違点を考えながら伝え合うよう  にさせる。  ○　一人一人の考えを認め，尊重するように声をかける。  ○　自分の考えを発表させ，似ている・少し違うなど自分の考え  と比べながら伝え合うことができるようにする。  ◆　考えを書くことが難しかった児童にも発言させる。  ○　本時の学習で，問いに対する自分の考えをまとめることがで  きたかを振り返らせる。  ○　友達の考えに触れて，自分の考えが変わっても良いことを伝  え，多様な考えがあることを確認する。 | 友達はどうして不幸せだと考えているのだろう。理由が気になるな。  まずは自分の考えをまとめて，その後，班で伝え合おう。  ごんは，最後の最後で兵十に自分のしてきたことに気づいてもらえて，幸せだったと思う。  「幸せ」は同じだけど，理由が違ったな。  兵十がうっていなかったら，友達になれたかもしれないから，ごんは不幸せだと思うよ。  友達はそんな風に考えていたのか。なるほど。  これは，幸せ・不幸せどちらかに決めることはできないな。  友達の考えを聞いて，なるほどと思うことがたくさんあったよ。少し自分の考えが変わって面白かったな。  人物と人物の関わりや，気持ちの変化をもとに，自分の考えたことをまとめている。  【思・判・表】（ノート） |